

# Interview

楽団員インタビュー Vol.54

## 生演奏は一期一会

### 第2ヴァイオリン 今井 東子

Haruko Imai, Second Violin



#### ◆楽器を始めたきっかけは？

兄が二人おりまして、次兄がヴァイオリンを習っていたんです。それでレッスンについて行ったりしているうちに、私もやりたいと言い出したのがきっかけです。

#### ◆そこから、オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

色々紆余曲折がありまして(笑)。ヴァイオリンはずっと好きで弾いていましたが、大学は千葉大学の文学部に入学し、オーケストラのサークルに入りました。そこでは弦楽器は、全てのパートにプロオケの楽団員がトレーナーにいらして、定期演奏会の指揮者も第一線で活躍されている方が振っていたんです。学生の熱量も凄く、オーケストラの面白さを知ったのがここが原点です。でも、それからがまた長くて、勤めていた会社を辞めてロンドンに留学出来たのが29歳の時。帰国後受けた山響のオーディションに運良く受かり、今に至ります。

#### ◆好きな作曲家・曲は？

出来るだけその時演奏している曲を好きになるようにしています(笑)。変わらないのはバッハ、モーツァルト、ベートーヴェンです。

#### ◆ヴァイオリンの魅力は何ですか？

音色の引き出しが多いところです。魅力であると同時に、弾く人の性格や内面もダイレクトに出るので、難しく怖いところでもあります。

#### ◆好きなヴァイオリン奏者は？

ロンドンで師事した藤川真弓先生です。音楽のスケールが大きくてあったかくて、その上音色に艶が

ある。沢山のことを教わりましたが、音楽に真摯に向き合う姿に接することができた日々は、私の生涯の宝です。

#### ◆使用している楽器について教えてください。

イタリアのボローニャで作られた楽器で、ピエトロ・トリンボリの1975年製です。年が自分と近いのもあり、楽器に負けてられないといつも刺激を受けています。

#### ◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか？

本とお茶があれば基本的に機嫌の良い人なので、休日は大体そのどちらかがある場所にいます。自粛期間中は、愛用している山形鋳物の鉄びんで、美味しい紅茶の淹れ方を研究していました。

#### ◆趣味や特技はありますか？

自慢するようなことでもないのですが、どこでもすぐ眠れるのが特技といえば特技です(笑)。旅が多い仕事なので、役立っているとは思いますが。

#### ◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも沢山の応援、本当にありがとうございます！初めて山響のステージに上がった時、お客様の拍手があたたかくて感動しましたが、それは今も変わらず、直接頂くお声がけと共に大きな励みになっています。自粛期間中に再認識したのは、皆様に支えられているありがたみと、生演奏は一期一会というシンプルな事実です。そこにいる皆で共有する、唯一無二の贅沢な時間を更に豊かなものにできるよう、これからも頑張っていきたいと思います。